土佐日記

阿倍仲麻呂 ― 品詞分解 ―

十九日。
日 悪しけれ（形シク・已） ば（接助・順理）、船 出ださ（サ四・未） ず（打消・終）。

二十日。昨日 の（格助・体修） やうなれ（比・体） ば（接助・順理）、船 出ださ（サ四・未） ず（打消・終）。み な人々、憂へ（ハ下二・用） 嘆く（カ四・終）。苦しく（形シク・用） 心もとなけれ（形ク・已） ば（接助・順理）、ただ（副） 日 の（格助・主格） 経（ハ下二・用） ぬる（完・体） 数 を（格助・対象）、今日幾日、二十日、三十日 と（格助・引用） 数ふれ（ハ下二・已） ば（接助・順理）、指 も（係助・同類） 損なは（ハ四・未） れ（受・用） ぬ（強・終） べし（推・終）。

いと（副） わびし（形シク・終）。夜 は（係助・区別） 寝 も（係助・強意） 寝（ナ下二・未） ず（打消・終）。

二十日 の（格助・体修） 夜 の（格助・体修） 月 出で（ダ下二・用） に（完・用） けり（詠・終）。山の端 も（係助・強調） なく（形ク・用） て（接助・単接）、海 の（格助・体修） 中 より（格助・起点） ぞ（係助・強調（係）） 出で来る（カ変・体（結））。

かうやうなる（形動ナリ・体） を（格助・対象） 見（マ上一・用） て（接助・単接） や（係助・疑問（係））、昔、阿倍仲麻呂 と（格助・引用） 言ひ（ハ四・用） ける（過・体） 人 は（形助・提示）、唐土 に（格助・帰着） 渡り（ラ四・用） て（接助・単接）、帰り来（カ変・用） ける（過・体） とき に（格助・時間）、船 に（格助・対象） 乗る（ラ四・終） べき（当・体） 所 にて（格助・場所）、か（代） の（格助・体修） 国人、馬のはなむけ し（サ変・用）、別れ 惜しみ（マ四・用） て（接助・単接）、かしこ（代） の（格助・体修） 漢詩作り など（副助・例示） し（サ変・用） ける（過・体（結））。飽か（カ四・未） ず（打・用） や（係助・疑問（係））、あり（補動・ラ変・用） けむ（過推・体（結））、二十日 の（格助・体修） 夜 の（格助・体修） 月 出づる（ダ下二・体） まで（格助・範囲） ぞ（係助・強調（係）） あり（ラ変・用） ける（過・体（結））。その（代） 月 の（格助・体修） 海 より（格助・起点） ぞ（係助・強調（係）） 出で（ダ下二・用） ける（過・体（結））。これ（代） を（格助・対象） 見（マ上一・用） て（接助・単接） ぞ（係助・強調（係））、仲麻呂 の（格助・体修） 主、「我（代） が（格助・体修） 国 に（格助・場所）、かかる（連） 歌 を（格助・対象）、なむ（係助・強調（係））、神代 より（格助・起点） 神 も（係助・同趣） 詠ん（マ四・用（撥音）） も（係助・同趣）、給び（補動・バ四・用（尊）仲麻呂→神）、今 は（係助・区別） 上 中 下 の（格助・体修） 人 も（係助・列挙） かうやうに（形動ナリ・用） 別れ 惜しみ（マ四・用）、喜び あり（ラ変・用）、悲しび も（係助・列挙）

ある（ラ変・体）　とき（格助・時間）　に（係助・区別）　は（マ四・体（結））詠む。」（格助・引用）　と（格助・引用）、　詠め（マ四・已）　り（完・用）

過・体（流れ）　ける　歌、

青海原（マ上一・已）　振りさけ見れ　ば（接助・確偶）　春日（在・体）　なる　三笠の山　に（格助・引用）

出で（ダ下二・用）　し（過・体）　月　かも（終助・詠嘆）

と（格助・引用）　ぞ（係助・強調（係））　詠め（マ四・已）　り（完・用）　ける（過・体（結））。　か（代）　の（格助・体修）　国人、

聞き知る（ラ四・終）　まじく（打推・用）　思ほえ（ヤ下二・用）　たれ（完・已）　ども、（接助・逆確）　言　の（格助・体修）　心　を（格助・対象）、

男文字　に（格助・手段）　さま　を（格助・対象）　書き出だし（サ四・用）　て（接助・単接）、　ここ（代）　の（格助・体修）　言

葉　伝へ（ハ下二・用）　たる（完・体）　人　に（格助・対象）　言ひ知らせ（サ下二・用）　けれ（過・已）　ば（接助・順偶）、　心

を（格助・対象）　や（格助・疑問（係））　聞き得（ア下二・用）　たり（完・用）　けむ（過推・体（結））、　いと（副）　思ひのほかに

なむ（係助・強調（係））　賞で（ダ下二・用）　ける（過・体（結））。　唐土　と（格助・比基）　こ（代）　の（格助・体修）　国　と（格助・比基）

は（係助・区別）、　言　に（格助・手段）　異なる（形動ナリ・体）　もの　なれ（断・已）　ど（接助・逆確）、　月　の（格助・体修）　影　は（係助・区別）

同じ（形シク・終）　こと　なる（断・体）　べけれ（当・已）　ば（接助・順理）、　人　の（格助・体修）　心　も（係助・同趣）

同じ（形シク・体）　こと　に（断・用）　や（係助・疑問（係））　あら（補動・ラ変・未）　む（推・体（結））。

さて、（接）　今、　そのかみ　を（格助・対象）　思ひやり（ラ四・用）　て（接助・単接）、　ある（連）　人　の（格助・主格）

詠め（マ四・命）　る（完・体）　歌、

都　に（格助・場所）　て　山の端　に（格助・場所）　見（マ上一・用）　し（過・体）　月　なれ（断・已）　ど（接助・逆確）

より（格助・起点）　出で（ダ下二・用）　て（接助・単接）　波　に（格助・帰着）　こそ（係助・強意（係））　入れ（ラ四・已（結））　波